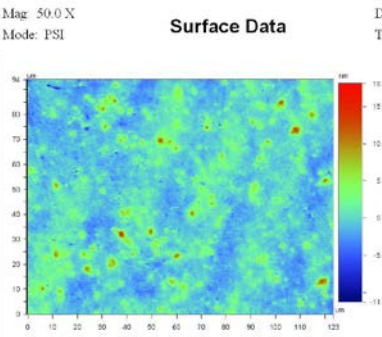


ATC 施設利用・共同開発研究 成果報告書

国立天文台先端技術センター センター長 野 口 卓 殿

平成 31 年 3 月 20 日

下記のとおり施設利用の成果を報告します。

ふりがな： おおや しん 代表者氏名： 大屋 真	③所属機関，部局： 国立天文台/TMT 推進室
研究課題名：可変形鏡の評価	
利用期間：H 29 年 10 月 30 日 ～ H 30 年 9 月 30 日	
利用者リスト 大屋 真	
研究開発の成果（ATC 施設利用との関連を具体的に記述してください。） オプティカルショップにある粗さ計を用いてセラミック材料の研磨加工前後の面粗さの評価を行った。図はコージェライトのサンプルの測定例である。 Mag: 50.0 X Mode: PSI Surface Statistics: Ra: 1.32 nm Rq: 1.81 nm Rz: 20.99 nm Rt: 29.36 nm Set-up Parameters: Size: 736 X 480 Sampling: 168.00 nm Processed Options: Ternus Removed Tilt Filtering: None Title: Note: Surface Data  Date: 05/11/20 Time: 18:37:20	
施設利用が謝辞等に記された学術論文など（資料を添付してください。） 本期間中にはありません。	
先端技術センターの利用設備・実験室等の利用した物品を具体的に記入してください。マシンショップへ依頼したリスト・利用した測定器・CAD 等について記入してください。） 面粗さ計(WYKO NT1100)	
先端技術センターの施設への要望等ありましたら、記入してください。	